

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第360号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2016年12月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

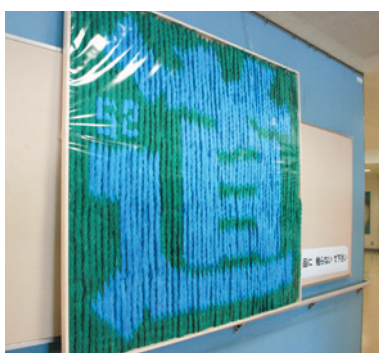
若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

第52回建学祭「道」入場者数5,565名

TOP\*NEWS

吹奏楽部 全国大会・管楽合奏コンテスト出場

東海大学附属推薦入学試験合格者発表



建学祭テーマ「道」折り鶴アート



全国大会での演奏〔吹奏楽部〕



# 建学祭開催

## 「伝統を築く」

建学祭実行委員長 3年10組 村林 直樹

歴代の先輩方と歩んできた建学祭も第52回を迎え、5,565名のお客様をお迎えできました。今年度の建学祭のテーマは「道」です。このテーマには、伝統を歩みながらも新たな伝統を切り開こうという思いが込められています。

今年度は全校生徒作品として、折り鶴を使った作品を作ることができました。また、一人ひとりが協力することで、このような素晴らしい建学祭を作ることができました。後援会及び保護者の皆様、教職員の協力で無事に建学祭を終えることができました。

ありがとうございました。

### 英語スピーチコンテスト(高1)

#### コンテストを通して思ったこと

10組 メッサー 真秀

私は、リハーサルから緊張感が溢れて不安を感じましたが、優勝だと気付いた頃にはうれしさのあまりに緊張が吹き飛んでいた気がしました。自分にとっては、人生の大きな一歩となりました。しかし、これからは英語はさらに難しくなっていくので、休んではいられません。スピーチコンテストでの経験を生かし、一日ずつ前へ進んでいくと同時に、次は英語ディベート大会にチャレンジしていきたいと思えます。

英語スピーチコンテスト 結果	
優勝	10組 メッサー 真秀
準優勝	2組 大野 拓真
3位	7組 若尾 恵実



左から、若尾さん、メッサー君、大野君

### 日本語ディベート大会(高2) 肯定側優勝

#### ●日本語ディベート大会論題●

「日本は女性専用車両を廃止すべきである。是か非か」

#### 学んだこと

肯定側 10組 天野 悠己

私は今回のディベートで第二反駁の役割及び立論原稿の作成を担当しました。その経験から、自らの主張を具体的かつ短くまとめることについて学ぶことができました。ディベートでは第三者を納得させるため、説得力を持った意見を述べる必要があります。また、話す相手がいる以上、内容を短くわかりやすくする必要もあります。この2点を意識することで、結果として文章作成力を高めることにもなりました。



左から、天野君、坂元君、西ヶ谷君、門脇君、山本君

### 英語ディベート大会(高3) 肯定側優勝

#### ●英語ディベート大会論題●

“Takanawadai Senior High School students should study abroad during their high school days.”

「東海大学付属高輪台高等学校の生徒は高校生の間に留学すべきである」

#### 英語で伝える難しさ

肯定側 5組 関野 貴友

今回、私は英語ディベートに肯定側として参加しました。ディベートには深くかかわった経験がなく、英語ということもあり難しいという印象がありました。特に英語は日本語と比べて抑揚がつけにくく、最初は自分たちの意見や主張をただ言うだけになってしまいました。しかし、皆繰り返し練習することで、日本語に劣らない表現ができ、またジェスチャーなどを使うことでより良いディベートにすることができたと思います。



左から、中村君、関野君、浅倉さん、鹿野さん、島田君

## 2016年度 第11回 知財グランプリ結果

今年度で「知財グランプリ」は11回を数えます。

「知財グランプリ」は、生徒・保護者・教員の代表8名が高校のクラス展示や模擬店について、①内容やメニュー、②生徒の取り組み、③装飾、④ポスターの4つの観点から審査を行い、上位3団体とポスター部門1団体を表彰するものです。今年度も、調べ学習の発表や録音、動画など楽しい展示と、さまざまな味を楽しむことができる模擬店が企画されました。多彩な取り組みが出そろった中、今年度の総合部門とポスター部門の優秀クラスが選出されました。中等部3年生や高校1、2年生の皆さんは、今回の受賞クラスを参考にして来年度の企画で新たなチャレンジをしてください。



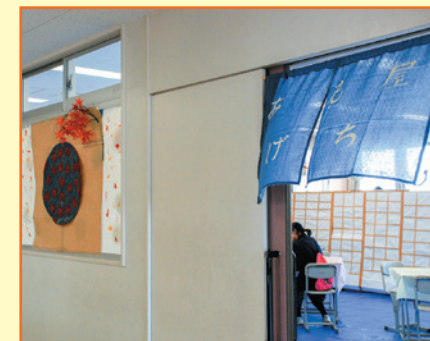
### グランプリ 2年8組 INTRO BOON!!

イントロあてクイズというシンプルな企画ながら、来場者の年代に合わせた曲を出題するなどのきめ細かいおもてなしと、完成度の高い洗練された装飾、ポスターが高い評価を獲得しました。

### 準グランプリ

### 2年10組 もち あげちゃいました!

しょうゆ味の揚げた餅を提供した校内模擬店です。特に審査員の評価が高かったのは、和風で統一された装飾とポスターの完成度の高さ、そして接客態度でした。



### 2年7組 海底2万メイロ

海底をイメージした丁寧な造りの装飾と、クイズとゲームを組み合わせた展示が高い評価を得ました。



### ポスター部門賞 3年7組 あなたはドッチュ??

企画内容・場所・主催クラスがわかりやすく、ポスター本来の目的をしっかり維持した巧みなデザインが審査員の高い評価を受けました。

## 後援会から建学祭の収益金を寄贈していただきました

10月15日(土)・16日(日)に第52回の建学祭(文化祭)が行われました。今年も後援会主催による「バザー」および「けやき屋食堂」は大盛況となり、後援会からは収益金を学校に寄贈していただきました。準備、運営にあられた後援会の皆様には心より感謝申し上げます。

また、多くの保護者の方々にバザー用品拠出のご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

なお、寄贈いただいた収益金は、教育活動に役立つものの購入など有意義に活用させていただくとともに、一部を私学ボランティア基金へ募金させていただきます。





# 2017年度東海大学付属推薦入学試験 398名が合格 おめでとう

東海大学では、社会的実践力を有した人材の育成を教育理念としており、この理念を実現する具体的な教育施策として、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の「4つの力」の育成を教育目標に掲げています。この「4つの力」を身につけるために、特色あるカリキュラムと教育システムを用意しています。



ご存知の通り、本学は全国に8キャンパスがあり、18学部77学科・専攻・課程をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、今年度も多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、2016年11月25日(金)に東海大学付属推薦入学試験の合格発表がありました。これで、5月の小論文試験から始まり、芸術・看護・医学系の適性審査・航空操縦学専攻の適性審査などすべての試験が終了し、半年にわたった付属推薦入試も終了しました。今年度は398名の東海大学関係への進学が決定し、これは3年生全体の87%に相当します。

合格した生徒は、個別指導課題2や大学指定のe-learningなどの課題に取り組むとともに、大学の先生方から訪問指導のあった学科については、学習についてのアドバイスも受けたと思います。入学までに各自で必要な学力を付けておくようによろしくしてください。

以下に今年度の合格者の状況を紹介いたします。

## ●東海大学進学者

合格した学部	進学予定者数
国際文化学部	5名
生物学部	2名
情報通信学部	29名
文学部	58名
観光学部	26名
政治経済学部	39名
法学部	12名
教養学部	49名
体育学部	32名
理学部	10名
情報理工学部	9名
工学部	70名

合格した学部	進学予定者数
医学部	4名
健康科学部	14名
海洋学部	16名
経営学部	3名
基盤工学部	1名
農学部	3名

## ●東海大学短期大学関係進学者

合格した学部	進学予定者数
短期大学部(静岡)	1名
医療技術短期大学	7名
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	8名

## 吹奏楽部 全国大会出場・管楽合奏コンテスト出場

吹奏楽部顧問 島田 貴生

10月23日に名古屋国際会議場白鳥センチュリーホールにて行われた、第64回全日本吹奏楽コンクール全国大会において、本校吹奏楽部は銀賞を受賞しました。昨年の悔しい想いを果たすべく、今年は難曲として知られるC.T.スミスの曲に挑戦しました。会心の演奏となりましたが、審査員の先生方の評価は厳しいものがありました。しかし、確実に高輪台吹奏楽部の歴史的な演奏となりました。皆様のご声援、誠にありがとうございました。

### みんなでつくった音楽

吹奏楽部部长 3年2組 小澤 成実

10月23日に名古屋国際会議場にて行われた全日本吹奏楽コンクールに出場し、銀賞を受賞しました。悔しいというより、悲しい、ガッカリした気持ちの方が大きいです。本番の演奏はとても良くできました。演奏終了後は、大きな拍手、大きな歓声を受け、会場内のお客様には「高輪台よかったよ」「感動したよ」と、声をかけていただくことができました。人の心を動かすことや感動させることは難しいけれども、1人でも多くの人に私たちの演奏が伝われば、賞の色は欲しかったものとは違っても、良いものだったと思います。今まで応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。これからも吹奏楽部部員をよろしくお祈りします。



### 91人で挑んだ挑戦

吹奏楽部 3年7組 前多 葵

今年の管楽合奏コンテストはガイーンという曲に挑戦しました。練習では、声に出して歌ってみたい、実際に体を使って表現したり、全員がこの曲に本気で取り組みました。目標とする最優秀グランプリをとることはできませんでしたが、個性豊かな91人で挑んだ本番はとても楽しく充実した8分間になり、悔いはありません。高校に入って初めてのコンクールとなる人もいる中で、3年生14人と一緒にここまで頑張ってくれた1・2年生、そして応援してくださった方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の悔しさをばねに、来年こそは後輩たちにグランプリをとってほしいです。

## 松前重義記念基金 建学記念作文・小論文

2016年度「松前重義記念基金」建学記念作文・小論文の応募者の中から、中等部1年B組の齋藤光さんの、現代のコミュニケーション「その目的と手段を考える」というテーマで書いた作文が見事、優秀作品に選出されました。11月2日に行われた建学記念式典で片桐校長より記念奨学金の証書と奨学金として3万円分の図書カードが授与されました。



### 「挑戦」

1年B組 齋藤 光

このたびは名誉ある建学記念作文優秀賞をいただくことができ、大変光栄に思っております。今回の作文のテーマである「現代のコミュニケーション」について、現代のあまりにも多すぎる通信機器や情報の中で、「コミュニケーション」という言葉の深さにも気づきました。そして、さまざまな年代からの視点や、現在自分のおかれている環境、過去の体験などから、それぞれがどのような目的があり、どのような手段でコミュニケーションを取り、意思疎通ができていくかを改めて考えることができました。

テーマに沿って書き進める作文は初めてだったので、文章の内容や組み立てに迷いながら何度も書き直し、時間がかかり苦労しました。しかし、今回の賞をいただいたことで文章を書く大きな自信にもなり、最後まで諦めずに頑張ってきたと思います。この経験を生かし、次回も挑戦したいと思います。



# 学年だより 中1

## ☆初めての建学祭☆

中等部1年生にとって初の建学祭が行われました。4月からこれまで各教科で習ったことや、各行事を題材に全14コーナーを設けました。お客さんが楽しみながら、「授業でどんなことを学ぶのか」、「どんな行事があるのか」がわかるように工夫しました。初めてで戸惑いながらも、一生懸命取り組んでいました。

### 協力することの素晴らしさ

A組 江川 明衣

今回、初めてだった建学祭では、準備から当日までたくさんのことを学ぶことができました。また楽しむこともできました。それらを紹介していきます。

私が思ったのは、協力することの素晴らしさです。建学祭準備では自分たちのグループ発表の準備はもちろん、教室の飾りつけもしなければなりません。そのような時もみんなが協力し合って、教室が色鮮やかになっていきました。その頑張りもあって、私の家族や友達みんな「教室の飾りつけは1年生だけでやったの？すごいね!」と言ってくれました。その言葉を聞いて、頑張ってきてよかったなと思えました。

これからも合唱祭やスポーツ大会などの行事で協力し合う時がたくさんあります。そのような時も「頑張ってきた」と思えるようにしていきたいです。

### 達成感を味わえました

B組 有井 貴恵

初めての建学祭はとても緊張しましたが、最終的には楽しむことができました。その中で印象に残ったことが2つあります。

まず1つ目は準備です。お客さんが来るまでの準備は大変でしたが、私たちの班6人で楽しく一緒に力を合わせて作り上げることができました。音楽の授業で学んだことを書いたポスターも、お客さん皆が読んでくださったので、一生懸命書いた甲斐があったなととてもうれしかったです。小学校の頃は味わえなかった達成感が味わえたので、それもうれしかったです。

次に印象に残ったのは、建学祭実行委員のことです。私は当日、スリッパの片づけをしました。その時、お客さんが「ありがとう」と言ってくださり、とてもうれしかったです。私は人と関わるのが大好きなので、実行委員になってよかったと思いました。

来年や再来年もこの建学祭の良さを伝えていきたいです。



【美術】美術の授業で作った優秀作品展示と間違えがしにチャレンジしてもらったよ



【国語】漢字と読みカードを組み合わせよう!



【英語】たくさんの風船の中から出題された単語を探してね



【音楽】音楽に関する〇×クイズやリズム問題を出しました



【オリエンテーション合宿】オリエンテーション合宿で行った藍染体験のことも紹介しました



【剛健旅行】すごろくしながら、剛健旅行について紹介しました

# 学年だより 中2

## 建学祭がありました

10月15日(土)、16日(日)で建学祭がありました。昨年度は初めての行事で右も左もわからない手探り状態でしたが、今年委員の人たちを中心にして事前に話し合い、「怪盗」をテーマにして2クラス合同で準備を始めました。当日までの準備日にはさまざまなトラブルや意見の行き違いがあっ、一時はどうなることかと思いましたが、生徒の皆さんにとって、昨年度より充実度の高いものとなりました。来年度は中等部最後の建学祭になります。良いものを創り上げることができるよう、みんなで協力していきましょう。

### 建学祭について

A組 石川 結萌

建学祭を終えて、一番良かったことは、自分のシフトの時にお客さんに笑顔で接することができたことです。そのほかには、高校の展示や出し物をたくさん回ることができたこともよかったです。縁日がメインのフロアでは、釣り、ブラックボックス、ポーリング、人探しなどがあって、とても面白かったです。怪談も面白かったです。前庭ではいろいろな食べ物のお店があって、全部おいしそうでした。フルーツ入りジュースを飲みましたがとてもおいしかったです。中等部では食べ物を作ったり、売ったりすることができないので、高校生になったら、来てくれたお客さんが笑顔になってくれるような食べ物を売りたいと思います。来年の中等部最後の建学祭は、オーストラリアについて頑張って調べたいと思っています。

### 建学祭の振り返り

A組 谷 滉太郎

2年目の建学祭は、昨年より企画がしっかりしていてよかったと思います。個人的には数学の担当だったのですが、反省としてはもっと見栄えを良くしたかったです。シフト以外の時間は基本的にマルチメディア同好会でゲームをしていました。そしてすいていそうな時間を見はかり、外に出て金券を使いました。チーズのポテトチップスが病みつきになりそうなほどおいしかったです。1日目に高校生の出し物の「怪盗」をやっている教室を探していたら、友達がそれらしいところを見つけました。それでも本当にここかなと、違和感を持ちながらも入ったら、ESSの企画で英語のクイズが出てきました。はじめの目的とは違いましたが、お菓子をたくさんもらったので、結果としてはよかったです。作品は創り上げるより掃除のほうが大変だと痛感しました。

### 努力だらけの準備日

B組 杉原 彩花

建学祭の準備日。私たちは国語のブースの担当でした。ほかのグループはすでに装飾を作っているなか、私たちは構成を練り終わったばかりで何も道具などは作っていませんでした。少し焦りながらまずはカード作り。私は絵を描くことが好きなので、イラストをたくさん描く役目でしたが、2時間も描き続けられずすぐに飽きてしまいました。準備日2日目の午前中のほとんどを費やし、完成。とても疲れましたが、達成感でいっぱいでした。次にイスの後ろ、荷物置き場を隠すための装飾。ここはほかの人のアイデアのおかげでダンボールに色を塗り、画用紙を切って日本らしい葉をくっつけるという飾りに取り掛かりました。葉を切る量がとても多く、なかなか終わりませんでした。カードのように途中で飽きたものの、コツコツと切っていく、2時間ほどかけてダンボールも完成。達成感があり、気持ち良かったです。本番も楽しく過ごすことができました。



笑顔で受け付け!



丁寧な接客を心がけました



準備を頑張った甲斐あってスムーズに接客できました



# 学年だより 中3

## 中等部最後の建学祭

10月に実施された建学祭で、中等部3年生は来年2月に実施されるオーストラリア海外研修旅行の準備として、事前学習した内容を発表しました。

### 責任を感じた建学祭

A組 原光希

今回、僕は建学祭で学年のリーダーを務めました。建学祭係になることも初めてでどうなるか心配でしたが、中等部最後の建学祭を成功させたいという強い思いがありました。ですから、2カ月くらい前から係りのメンバーで毎日、朝や放課後に集まって話し合いました。

今年は体育移動授業や祝日で、準備にあまり時間を使えなかったため、スピーディーに作業をする必要がありました。十分な準備をしているつもりでも、作業をしてみればはじめてわかることなどもありました。残っている材料と時間でどれだけクオリティーを高くできるか、途中で何度も係りのメンバーで話し合いました。当日は来場者も多く、楽しんでもらえてよかったです。

今回の建学祭が無事に終わられたのも係りのメンバーのおかげだと思っています。自分は建学祭係のリーダーを任されたのに、ふさわしい行動ができず、メンバーに迷惑をかけることもありました。責任者になったからには、メンバーをうまくまとめることや全体を客観的に見るが必要でした。今回学んだ責任感、また他の場でも生かされると思うので、いろいろなことに頑張りたいです。

### 成長!!

B組 木下愛未

中等部としての建学祭は最後でした。この3年間で、準備の大変さや係りの人の忙しさ、接客の楽しさを学ぶことができました。確実にそれらのスキルは上がっていると実感することができた建学祭でした。

自分たち3年生のテーマは「オーストラリア研修」でした。準備の段階からいろいろアクシデントもあり、ドタバタしながらも力を合わせて進めてきました。どの班のブースも立体的になっていたり、それぞれの特徴を掘りこんでいたので感心しました。

当日始まったばかりの時間は、接客が上手いかなかったりしましたが、段々上手に仕事ができるようになると、みんなの顔が生き生きとしてきて、お客さんも楽しそうにしていました。自分たちのアイデアやオーストラリアについての豆知識に感心してもらい、すごくうれしかったです。係りの人をはじめとする3年生全体で一つのモノを完成させて、「これが最後か」という少し悲しい思いもある反面、それ以上に「よかった、最高だ!」と思うことができました。



オーストラリアへご招待



じっくりと聞いていただきます



子どもたちにも優しく



ジェスチャーを交えて



笑顔で接客



一生懸命頑張りました

# 学年だより 高1

## 建学祭

10月12日に行われた前夜祭と15・16日の建学祭では、多くの1年生がクラスや部・同好会、委員会においてそれぞれの役目を立派に果たし、学校を盛り上げました。その中でも特に、裏方として行事の運営を支えた生徒たちの活動を紹介します。

### 前夜祭司会(演劇部)

4組 関根 瞳

前は部活動で出られなかったので、今回が初めての前夜祭参加となりました。私は司会をやったのですが、各団体の熱気に圧倒されました。今年の前夜祭テーマは「学年・クラス・部活動の枠を越えて、皆で楽しむ」だったので、それを意識して本番に臨みました。当日は想像を遥かに超えて盛り上がり、会場に一体感が生まれました。司会という立場はとても不安でしたが、3つの有志団体さんの迫力と皆の声援が緊張を解いてくれました。この体験は前夜祭ならではのものなので、来年度以降も続けてほしいと思います。来年はより多くの参加者が出ることを願っています。



### 実行委員(本部)

10組 武井 亮磨

本部では各クラスでつくっていただいた折り鶴で今年度のテーマである「道」という文字を表現しました。目立つ仕事だけでなく、教室の鍵の受け渡しやパンフレットの配布、アンケートの回収、学校の清掃、各クラスに書いていただいた宣伝ポスターの掲示など、裏方の仕事も多くありました。



私にとって初めての建学祭だったのでわからないことがほとんどでしたが、先輩方に教えていただき、多くの仕事を覚えることができました。今までの「生徒主体でつくる建学祭」という伝統を崩さないように、来年度も一つ一つの仕事に責任を持ちたいと思います。

### 実行委員(宣伝・設営部門)

7組 渋谷 琉夏

宣伝・設営部門では、夏休みから買い出しに行ったり、夜遅くまで校内に残ったりして門を作成してきました。自分たちでデザインを考え、材料を買い、ベニヤ板を切ったり色を塗ったり、鉄パイプを組んで門を立てると、とても多くの作業があり、そのすべてが私たち1年生にとっては初めてのことでした。それでも、最後まで成しとげることができたのは3年生の先輩方のおかげです。これまでの経験からのアドバイスをしてくれただけでなく、いつも明るく楽しい雰囲気で作業ができるような場を作ってくださいました。その感謝を忘れずに、来年も良いものを作っていきたいです。



### 連絡(放送部)

4組 八坂 由衣

入学して初めての建学祭で、私は放送部の活動に参加しました。内容は、前夜祭のビデオ撮影や、ステージ発表や

諸々の情報をご来校の皆様や生徒の皆さんに放送を通してお伝えすることです。私は今まであまり放送を行ったことがなかったので、ちゃんと言葉を伝えられる放送ができるのか、緊急の放送もいっぺんできるのかと不安もありましたが、無事に仕事を終えることができました。普段の生活では大勢の人に向けて放送をする機会はないので、良い経験になりました。

放送という目に見えない形ではありましたが、建学祭に貢献することができたことをうれしく思います。



### 「知財グランプリ」審査を振り返って

建学祭では過度なクラス間競争を避けるため、出展に際しては一定のルールに従わなくてはならないことになっています。そのため、グランプリを獲得するためにはお金ではなく手間や時間を掛けることが求められます。「SSH研究発表」(10組)は夏期休暇中から準備を進めてきた努力の過程が見受けられましたが、企画名称と教室のデコレーションについてはシンプルすぎて物足りなく感じました。「ヒト探し」(7組)は校舎全体を利用しての点は高く評価されましたが、こちらもポスターや教室の飾り付けにもう工夫がほしかったという印象です。装飾という点では天井から風船を吊り下げた9組が注目を集めていましたが、惜しむらくは「ナインクレスト」(緑日)という企画内容との関連性が弱かった点でしょうか。ポスター部門では1組の作品が高評価を得ていましたが、「赤地に黒文字は読みにくく、「情報を伝える」というポスターの役割を十分に果たしていない」といった指摘もあり、受賞には至りませんでした。全体的に緑日・ゲーム系が多かったなか、一つのアトラクションに特化した6組の「もぐらたたき極めてみた。」や8組の「世界の果てまでイッテキマス。」(すごろく)は出展名にも工夫が見られ、面白い取り組みだったと思います。残念ながら第1学年からの入賞は叶いませんでしたが、各クラスがそれぞれの個性を発揮しながら意欲的に取り組んでいた様子がかげえましたので、来年度以降の活躍に期待したいと思います。(研究部)



### 朝読書、何を読んでいますか?【第7回】 黒沼 菜未 先生(養護)

保健室の黒沼先生お薦めの一冊は、「時間どろぼう」と「盗まれた時間を取り戻してくれた女の子」の不思議な物語です。

#### ★ミヒヤエル・エンデ作、大島かおり訳『モモ』(岩波少年文庫)

時間どろぼうである灰色の男たちは、時間貯蓄銀行に時間を蓄える利益を言葉巧みに伝え、大人から時間を奪っていく。大人は必死で時間を節約するが、イライラしたり無感情になったりと、本当の意味での生きることを奪われていく。灰色の男たちの正体をつかんだモモは奪われた時間を取り戻しに行く。

この本に出会った小学生の頃、ファンタジー感とスリル感でドキドキしながらモモの世界にはまっていたのを覚えている。このコラムの話を受けて最近『モモ』を読んでみたのだが、改めて時間とは何か、と考えさせられた。空を見上げたり、ホットミルクを飲んで一息ついたりするのに、30秒も1分もかからない。自分自身、忙しさに追われることもあるが、大切なこと・無駄なことって何なのか、立ち止まってじっくりとそういうことを考えさせてくれる物語である。

(次号は、生徒会役員会書記に就任した加藤優帆さんのお薦め図書を紹介します)





# 学年だより 高2

## 2学年の建学祭はこれ! ①

2016年度第52回建学祭が終わりました。各クラスの代表が建学祭の活動を振り返りました。

### 1組 への1カフェ

沼田 みなみ

1組は内装に力を入れていて、当日の朝までの準備で大変でしたが、クラスの全員が協力して成功させることができました。



### 2組 もぎたてなおや

齋藤 雛

私たち2組は、フルーツ入りジュースを販売しました。当日はお客さんが大勢来て、おいしいという声も聞けてとてもうれしかったです。



### 3組 ミニたいやき

金子 夢

トラブル連発で大変でしたが、クラスみんなで協力して、なんとか2日間お店を開くことができました。たくさんの「美味しい」を聴くことができ、本当にうれしかったです。



### 4組 OZK迷路～えりかさまとゆかいな仲間たち～

近藤 舞

準備が思ったよりも大変でしたが、たくさん考えて私たちの楽しい迷路を作ることができました。お客様も思ったよりに来てくれて、よかったです。



### 5組 5組怪談

宮地 珠利

私たちのクラスは、準備期間になかなか想像している装飾ができず、間に合うか不安でしたが、皆で協力して成功することができました。



### 6組 俺のタピオカ

鈴田 乃彩

私たちのクラスは準備の段階からみんなで協力することができ、とてもスムーズに始まりまして。2日間完売することができ、とても良い思い出ができました。



# 学年だより 高3

## 最後の体育祭

雨が多い今年の9月でしたが、奇跡的にも、体育祭向けの青空が姿を見せた9月28日(水)、高校体育祭が埼玉県にある総合グラウンドで行われました。文字通り、3年生にとっては最後の体育祭になりましたが、若い力が至るところでみなぎっていました。

チームは「色別」で編成されており、オレンジが優勝、青が準優勝を飾りました(緑:1・4組、青:2・9組、赤:3・8組、オレンジ:5・6組、白:7組、黄:10組)。今回は優勝、準優勝クラスにお話をうかがいました。

### 【優勝:オレンジ】

5組 浅野 李莉花

3年生にとっては最後の体育祭、私たちオレンジは優勝することができました。私は色別対抗リレーに出場して、1位になったことがとてもうれしかったです。3年生を中心に走順を決め、学年関係なく応援し合い、力を合わせてとれた1位だったと思います。卒業も近づいているので、残り少ない行事、高校生活を存分に楽しみたいです。

6組 犬束 聡見

3年目の体育祭が終わり、心なしか1年や2年の頃よりも盛り上がっていたように感じました。「最後の」行事が3年生になってから増え、高校生活の終わりが近づいていることの実感が湧きました。残す行事は建学祭とスポーツ大会、そして卒業証書授与式です。1日1日を大切に仲間と高校生「最後の」生活を楽しみたいと思います。

### 【準優勝:青】

2組 河原 央佳

総合グラウンドで行う最後の行事となりました。同色の他学年の人たちとも協力し、楽しく競技に参加することができました。部活動対抗リレーや色別対抗リレーはとても盛り上がり、学年を超えて団結力を体感しました。途中から少し雨も見られましたが、最後まで競技を行うことができてよかったです。高校生活、限られた時間の中で大切な仲間と有意義に過ごしたいです。

9組 富樫 泰平

私は、高校生活最後の体育祭で大役を任せられました。それは、全校生徒の前で朝礼台の上に立ち、準備体操をすることでした。人前で何かをすることが苦手なため、準備体操前はとても緊張していました。しかし、朝礼台の上に立つと緊張がほぐれ、ミスすることなくやり遂げることができました。私はひとつ大人の階段を上れた気がしました。





# SSH活動報告

## SSH成果報告会

10月29日、SSH成果報告会が行われました。今年度は、タイのパヤオ大学附属高校と新潟県の新発田高校、都立科学技術高校の生徒約70名が来校し、交流会や発表会を行いました。交流会ではパヤオ高校の生徒たちが、タイ舞踊を披露してくださいました。3年SSHクラスの生徒たちは、課題研究のポスター発表を全員英語で行いました。生徒たちは、ジェスチャーを交えながら、必死に英語で発表や質疑応答をしていました。どの生徒も英語力を高める努力をするきっかけになりました。

### タイの人との交流

1年10組 石村 玲奈

交流会で、いろいろな地域のタイ舞踊をしてくださいました。地域によって衣装や踊りが全く違い、とても興味深かったです。私が一番印象に残っているのは、南地方の踊りです。ピンクや紫色などのカラフルな衣装が多い中、南地方はシックな色でした。踊りも4人の息が合っていてかっこよかったです。ポスター発表の時、タイの高校1年生と仲良くなり、民族衣装を着せてくれました。この衣装の着付けは全て彼女たちがやってくれました。日本の着物より単純だったとはいえ、とても素早く着せてくれました。自国の文化と普段から触れ合っているのかなと思います、うらやましかったです。

今回の経験を通し、英語が話せるようになりたいとより強く思うようになりました。そして、2年後には私も英語による発表を行うことになると思います。そこで生かせるように、また、日常生活でも生かせるようにしたいです。



素敵なタイ舞踊に見入ってしまいました

### 来年度に向けて

2年10組 野田 翔平

今年度の成果報告会で、私は交流会の司会を務めました。タイのパヤオから生徒が来校していたので、英語による司会でした。当日は予定していた通りにスケジュールが進まず、急な変更がありましたが、そのような事態に対応していくことに難しさを感じながらも、やりがいを感じられる役割でした。交流会ではお互いの学校紹介をするともに、タイの伝統舞踊を見せてもらいました。きらびやかな衣装や最近の音楽に耳慣れた私たちにはあまり馴染みのない楽器の音色や、タイで独自に生まれ発展してきた踊りから、文化や歴史の違いを感じることができました。

また、公開授業としてアカデミックプレゼンテーションⅠが行われました。そこでは力学に関するプレゼンテーションを友人が英語で行い、私たちリスナーは内容に関してコメントを述べる練習を行いました。今回の成果報告会で一番驚いたことは、パヤオの生徒の英語力の高さです。母国語は英語ではないにも関わらず、発表や質疑応答がとてもスムーズでした。来年度の私たちの研究発表に向けて、この交流会や公開授業の経験を生かして準備を進めたいと思います。



英語で説明しました

### 伝えることの難しさ

3年10組 林 菜由

今回のSSH成果報告会で、私は英語で口頭発表とポスター発表を行いました。パワーポイントでの発表の後に質疑応答の時間があります。私は、パヤオ高校の発表を聞いて質問をしました。その時、間違った英語で質問をしてしまったのですが、タイの人は理解しようと努力してくれました。私は質問されても聞き取れないときは、人任せにしてしまったので、その時反省しました。タイの人たちの英語は、聞き取ることが難しいと言っている人もいましたが、話していても止まることなくスラスラと英語に訳せていたことに、勉強量の差を改めて感じました。また、タイの人との交流を通して英語が話せなくても、伝えようとする姿や理解しようとする姿勢が大切なことだと、改めて感じる事ができました。今後、このような機会があったら英語でコミュニケーションがとれるように、英語をもっと勉強していきたいと思いました。また、今回学んだ多くのことを次につなげていきたいです。



ポスターセッションで仲良くなりました

# 2016年度学校運営方針

2016年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

## 本校の取り組み PART.2

全授業を公開し、研究授業・公開授業へ積極的に取り組み、「教えるプロ」としての教員の資質向上を目指す

「生徒による授業評価アンケート」の結果を受けて、授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的な授業改善に努める

学園基礎学力定着度試験・学園高大連携総合試験結果を効果的に活用する

学校評価による教育活動の確認と改善を行う

教員の最も重要な仕事は授業です。ここにあげたのは、本校の教員全員が責任感と緊張感をもって授業に臨み、常に授業技術の向上に努めていくための取り組みです。

「できた、わかった」という喜びは、生徒の成長のエネルギーとなります。生徒にとって、その授業は一生に一度きりであるということを忘れず、常に一期一会の緊張感をもって授業に臨み、そのための教材研究や準備を惜しまない——これは、教員として当然のことだと考えます。しかしそれだけでは十分ではありません。知識に加え生徒の主体的な学びを引き出す技量を磨いてこそ授業力のある教員といえます。近年、アクティブラーニングという言葉が話題となっています。日々更新される情報に素早い対応が求められる現代は、主体的な学びの力が不可欠だからです。

研究授業や公開授業は、教員が相互に授業技術を学び合うために欠かせない取り組みです。また、たゆみなく授業を改善し、教員が授業技術を向上させていくには、組織的に「Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)」というPDCAサイクルを確立することが必要です。授業評価アンケートや学校評価、学園の試験結果の活用などはそのようなPDCAサイクル確立のための取り組みです。



## お知らせ

### 高校3年生特別講座開始

自ら学び、探究しようとする姿勢を大切に!!

**期間** 12月6日(火)～1月31日(火)

**目的** 大学での授業に備え、高校までに獲得しておかなければならない知識・技能について、これまでの授業とは異なる角度から学ぶため。

大学では、主体的に学ぶという態度がこれまで以上に求められます。学修に対するしっかりとした姿勢を身につけましょう。

### 中等部吹奏楽部 第8回定期演奏会

**日時**: 12月27日(火) 15:30 開場 16:00 開演  
**場所**: 高輪区民センター 区民ホール(白金高輪駅下車出口1を出てすぐ)  
**入場料**: 無料(12月5日(月)より高輪区民センター窓口にて入場券を配布予定)  
 1年間の集大成として部員一同頑張りますので、ぜひ聴きにいらしてください。

## 行事予定

December 12月

January 1月

- 1日(木) 後期中間試験(高1、高2:~2日)  
卒業試験(高3:~2日)  
スポーツ大会(AM)・キャリア教育(PM)(中等部)
- 2日(金) 校外活動(中等部)
- 3日(土) 生徒自宅学習日(高3)  
保護者会(中3)
- 4日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(高校)
- 5日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業  
答案返却(高3)
- 6日(火) 特別講座(高3:~1月31日)
- 10日(土) 三者面談開始(中等部)  
後援会湘南校舎見学研修会  
高輪会役員会
- 13日(火) 校医相談日⑧  
マナー講座(高3)
- 15日(木) 高校入試相談(生徒自宅学習日)
- 23日(金) 天皇誕生日
- 24日(土) 冬期休暇前諸注意・大掃除(3・4時限)
- 26日(月) 冬期講習(~28日)

- 6日(金) 新春懇親会
- 7日(土) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 8日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会⑤(中等部)
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 校医相談日⑨
- 12日(木) 学年集会③(高2、中2)
- 13日(金) 漢字検定(希望者)
- 14日(土) 数学検定(希望者)
- 16日(月) 高校推薦入学試験願書受付
- 18日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 19日(木) 生徒による授業評価アンケート④  
生徒による学校評価アンケート②
- 20日(金) 中等部入学試験願書受付  
(第1回:~1/31、第2回:~2/2、第3回:~2/4)
- 21日(土) 英語検定(3・4時限:中等部)
- 22日(日) 高校推薦入学試験(生徒自宅学習日)
- 23日(月) 高校推薦入学試験合否発表
- 25日(水) 振替休日(1/22分)
- 28日(土) 卒業試験(~31日:中3)  
特別時程(~31日:高校、中1、中2)
- 31日(火) 特別講座終了(高3)

### 建学祭準備&前夜祭



## 編集後記

イギリスのEU離脱に次ぎ、米国大統領選挙は世界に大きな衝撃を与えた。総得票数ではクリントン氏が上まわったものの、選挙人の多い接戦州を制した共和党のトランプ氏が次期米国大統領に決まった。2001年の同時多発テロ以来、「世界の警察」の役割を担ってきた米国だが、トランプ氏が政策の基調とする「米国第一主義」という保守的な考え方が支持された。世界の潮流はグローバル化からナショナリズムへと変化しているように感じられる。今年もあと1ヵ月、来るべき2017年が平和な1年であることを願いたい。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>